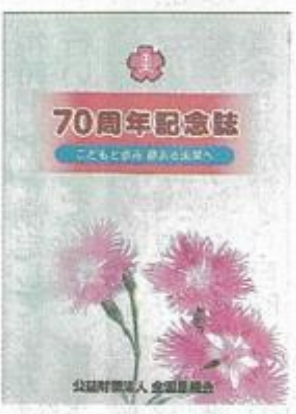


70周年記念誌を発行

地域の活動も紹介

全国里親会



全国里親会(河内美舟会長)は70周年記念誌を発行した。写真。同会が年史を発行するのは初めて。

同会は1954年、全国19都道府県の里親会により、全国里親連合会として発足。71年に財団法人となり、2011年には公益財団法人の認可を受けた。

就任した現在の河内美舟会長は組織の立て直しを行い、今では毎年度大巨要望などの政策提言にも力を入れている。記念誌はそうした70年の歴史を振り返ると同時に、地域の里親会活動も紹介。皇室との関わりについても触れられている。

同会発足前の1949年、国が提唱する児童福祉週間に賛同した高松宮喜久子妃殿下は高輪の宮邸にこどもを招き「一日里親」に命を受ける事柄もあつた。その後、54年に仙台市で開催された第1回大会から22年にわたって、毎回大会に「臨席された」という。

また、同会の会章のモチーフとなっているナデシコは、喜久子妃殿下の御印をもとに作成。今も大会では毎回妃殿下がかつての歌会始でこどもをお題に詠まれた御歌を朗詠している。(岐阜陸統)

障害者施設を移転改築

くつろげる暮らしに

東京・八王子市 関東・甲信越 多摩養育園

東京都八王子市にある社会福祉法人多摩養育園(足利正哲理事長)の障害者支援施設「精華」が移転改築され、3日に落成式が行われた。横になって過ごす利用者が多いため、暖房を完備するなど、安心してくつろいで生活できる施設にした。足利理事長はあいさつで、コロナや物価高などの影響で計画から6年かかったことに触れ、「入札不調でがっかりして利用者におわびすると、頑張ると励ましてくれた」と感慨深げに振り返った。

法人は1948年に戦争から生還した雲龍寺住職、故足利正明氏が本堂で戦災孤児を養育したのが始まり。現在、都内4市で保育、高齢、障害関係の20施設を運営している。

新施設は木造・一部RC造の4階建て。旧施設に隣接していた軽費老人ホームを解体し、22億円かけて建てた。定員80人で全室個室。ナースコールも完備する。リビングは熊野杉の木の温もりが感じられ、利用者の状態が図れるよう、事務所



社会福祉法人 あすなろ会 (出雲市) 園児と野菜を収穫する元自衛官の職員(左) 〓あすなろ会提供

認知症の人が参画

まちづくり拠点オープン

さいたま市 関東・甲信越 甲信越

「」が7月開所した。中央区の与野本町デイサービスセンター(社会福祉法人シナプス)内に設置し、市民や企業、関係団体など多様な主体が連携しながら認知症の人と共生するまちづくりを進める。

センターはシナプスに業務委託し、平日(年末年始除く)午前9時半から午後4時まで開所する。職員は社会福祉士らコアデザイナー6人と事務員1人の計7人。地域活動や、企業、団体による認知症の人への支援活動をサポートするため相談窓口を設けた。ポータルサイトを開設して認知症に関する最新の見聞やイベント情報などを発信するほか、地域に出向き認知症の理解や実践を促す講座、研修を開催する。

また、センターの開設に併せ、認知症の人が自らの体験や思いを発信する「さいたま市認知症希望大使」を任命。4日、市民会館をおみやで開かれたセンターのオープニングイベントで、清水勇人市

介護事業所の相談窓口

業務改善や機器導入を支援

三重県 東海・北陸

三重県は「白」「みえ介護生産性向上支援センター」を津市に開設した。介護現場での生産性向上の取り組みを推進するため、県内の介護サービス事業所を対象に、業務改善に関する相談対応や介護ロボットの導入を支援する「みえ介護生産性向上支援センター」運営は県介護福祉士会と介護労働安定センター三重支部で構成する。

介護ロボット・ICT機器について、体験などが可能な展示会や、導入に向けて使いやすいなどを事前に専門家と連携しながら課題解決に向けて支援する。相談に関する費用は無料で、電話またはホームページの専用フォームから受け付ける。

「心」のバリアフリー」ポスター募集 9月6日締め切り

東京都は「心のバリアフリー」普及啓発ポスターの募集を始めた。心のバリアフリーは、すべての人が平等に参加できる社会や環境について考え、必要な行動を続けること。小中学生が対象で、今回のテーマは「すべての人が自由に参加できるまち・心のバリアフリー」があふれる東京。小学生の部は、都内在住、在学中の小学校、特別支援学校小学部の4〜6年児童。中学生

「心のバリアフリー」ポスター募集 9月6日締め切り

東京都は「心のバリアフリー」普及啓発ポスターの募集を始めた。心のバリアフリーは、すべての人が平等に参加できる社会や環境について考え、必要な行動を続けること。小中学生が対象で、今回のテーマは「すべての人が自由に参加できるまち・心のバリアフリー」があふれる東京。小学生の部は、都内在住、在学中の小学校、特別支援学校小学部の4〜6年児童。中学生

ガバ大阪チャリティ協会の「心」のバリアフリー」ポスター募集。応募作品は都が選考し、小学生の部、中学生の部それぞれ最優秀作品1点、優秀作品5点以内を決定する。入賞作品は11月ごろに決まり、都のホームページで発表する。応募者は、都内在住、在学中の小学校、特別支援学校小学部の4〜6年児童。中学生

施設の高3対象 給付型奨学金 7月31日締め切り

朝日新聞厚生文化事業団は児童養護施設などで暮らす高校3年生を対象に、進学を応援する給付型奨学金の募集を募集している。対象は、進学を応援する給付型奨学金の奨学金は、児童養護施設や里親家庭、自立援助ホームで暮らし、2025年4月に大学や専門学校などに進学を希望する人が対象。選ば

一般競争入札

今般 共同募金会、一般競争入札による事業を実施します。

一、件名 障害福祉サービス事業 空調設備機器更新工事

二、工事場所 名古屋市中村区橋下

三、工事概要 鉄筋コンクリート地上3階建 延べ右記建物の空調設備機器更新工事

四、工 期 令和6年10月1日〜令和6年10月1日

五、申込受付期間 令和6年7月24日〜令和6年7月24日

六、入札参加資格 名古屋市に本店を有する競争入札参加級の認定事業者 その他要件は入札説明書に記載。申込先

社会福祉 〓あすなろ会提供

退職自衛官を採用

安全を重視 保育所用務員に

島根県出雲市内で2保育所や介護型ケアハウス、放課後児童クラブ(学童保育)などを運営する社会福祉法人あすなろ会(竹内一夫理事長)は、退職した自衛官を保育所の用務員として採用している。規律正しくきびきびとした勤務姿勢が好評で、こどもが巻き込まれる事件、事故が多発する中、園児や職員にとって心強い存在になっている。

同会は2012年からこれまでに、陸上自衛隊出雲駐屯地を最後に55歳で退職した人を中心に9人を雇用し、22年には自衛隊島根地方協力本部から感謝状が贈られた。

自衛官の再就職支援などを担う「島根地域援護センター」に求人

中国・四国

島根県出雲市内で2保育所や介護型ケアハウス、放課後児童クラブ(学童保育)などを運営する社会福祉法人あすなろ会(竹内一夫理事長)は、退職した自衛官を保育所の用務員として採用している。規律正しくきびきびとした勤務姿勢が好評で、こどもが巻き込まれる事件、事故が多発する中、園児や職員にとって心強い存在になっている。

同会は2012年からこれまでに、陸上自衛隊出雲駐屯地を最後に55歳で退職した人を中心に9人を雇用し、22年には自衛隊島根地方協力本部から感謝状が贈られた。

自衛官の再就職支援などを担う「島根地域援護センター」に求人

このたびは公益財団和6年度競輪補助金の事業を完了致しここに事業完了のごとくに、公益財団謹んで感謝の意を表す。

一、事業名 福祉機器整備機器 オージ

二、事業費総額 8334

三、補助金額 6266

四、施設名称 特別養育施設

五、施設所在地 福岡県 豊津5

六、年月日 令和6

社会福祉法人 カト